

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・政府の対応は、ウィズコロナで経済を回していく、となっているため、ふだんの生活に戻りつつあると思われる。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・一人暮らしの老人が亡くなっても、大きな葬儀にはなかなかならないが、その後の遺品整理や場合によっては住宅の処分、墓じまい、永代供養簿等の利用など、実はいろいろやらなければならないことが控えている。これが段々と分かってきて、最近は様々な業者の参入が増えてきている。あれもこれもと、できるのかということが出てくるので、まだ伸びる余地はある。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に関しては、外出制限などの措置がなければ、今後、来客数は増えてくるのではないかと。暑さもあいまって、今より客が増える。
	○	スナック（経営者）	・子供の新型コロナウイルスのワクチン接種がもっと進んでいけば、それほど感染を気にしなくても良かったのではないかと感じる。子供のワクチン接種が進めば、割と早く収まってくるのではないかと。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波が落ち着いたところで、全国旅行支援やGo To Travelキャンペーンの再開を予想している。そうなれば、秋は例年どおりの客の入込がある。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的に集客施策の実施や情報の発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	○	設計事務所（職員）	・大きい計画依頼も増えてきており、これから忙しくなりそうである。
	□	商店街（代表者）	・回復する要件が見当たらない。
	□	商店街（代表者）	・スポーツ用品はファッションとは違うので、景気が良くなったからといって、一気に売れる物でもなく、必要に応じて買う物である。客の買物の様子を見てみると、余分には買わないという感じである。今後全ての商材が値上げになるので、どうなるかは少し先にならないと分からない。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数に一喜一憂しており、これからのウィズコロナも経済を回しながらの感染症対策であるため、大きな期待は持たなくなっている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・秋にかけて自治体のプレミアム付商品券の発売予定があり、省エネ家電のポイント還元等の施策も出ているが、これでどの程度の需要や商材の動きがあるのかは、不透明感がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、今まで娯楽等に使っていたお金の、使えなかった分の動きが気になる場所である。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の消費意欲が、もう少し続きそうな予感がある。
	□	一般小売店〔薬〕（経営者）	・物価が少し上がってきている。また、新型コロナウイルスの感染拡大もみられ、現状は安定しているが、先行きは見通せない。
	□	百貨店（営業担当）	・エネルギーを始めとして、特に、食品関係の値上げがここしばらく続いているが、決して買わないわけではない。吟味しながら買うことになるので、売上の影響はさほど影響はなく、変わらない。
	□	百貨店（店長）	・現状の新型コロナウイルスの感染拡大下においては、未来を見通すのは非常に難しい。新規陽性者が増えても催事等は通常どおり実施するようになっている。ただし、地方百貨店は新型コロナウイルス感染症の発生前のような売上に戻る勢いはない。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波が収束に向かわないと、イベントも行われず。新型コロナウイルス感染症の報道を風邪程度の扱いにしてもらいたい。
□	コンビニ（経営者）	・今は人の動きが活発になっており、今年の夏は暑さが続いて前年よりは売上が伸びているように思う。この先は、いろいろな物の値段が上がって、売上は今一つになるとみている。	

□	コンビニ（エリア担当）	・毎週、食品や日用品の値上げが発生している。給料は毎週上がっているわけではないので、消費者の負担が増加しているが、すぐに生活水準が下がるわけではないので、変わらない。気づいたときには悪くなっているかもしれない。
□	コンビニ（店長）	・ほぼ全ての商材が値上げになっており、今月の余り良くない状況が、そのまま続いていく。
□	衣料品専門店（経営者）	・変わらないというより、分からない。
□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響が、今後出てくる。
□	乗用車販売店（経営者）	・新車生産の急激な回復は期待できず、しばらくはバックオーダーを順番に解消していく動きが続く。新型コロナウイルスの感染拡大の影響も懸念される。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第7波がどの程度で収まるかによって影響は出てくるが、大きな変化はないのではないかと。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いて、やっと客が戻ってきた感じがあったが、新規感染者数がまた増えてきて、来客が一気に減ってしまっている。特に、早い時間帯は多少は客が入るが、遅い時間になると全く人が動かない状況が続いている。この先、新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか見通せない状態が、また訪れてしまっている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・再び新型コロナウイルス感染症がまん延してきてはいるものの、実際の客の動きはそれほど変わらないので、現状維持になる。
□	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、それ以上に物価や燃油価格の高騰、為替状況等の負の要因が大いにある。旅行需要をみると、コロナ禍での感染拡大、減少を繰り返しながら、平常時の状態に回復していくのではないかと。かなりなだらかな回復状況となるが、他に大きな外的要因が発生しない限り、景気はこのままの状態が続く。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、世間が騒ぎになれば、また、少しずつ落ちてくる。ただし、今までのように大きく落ちることはないと思う。
□	通信会社（社員）	・祭りやイベント等が流動的なため、現状では起爆剤がない状況である。特別に、活発になる材料もない。
□	観光名所（職員）	・せっかく来客数は増えてきていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の第7波が始まり、予約の伸びが止まってしまっている。
□	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に対する警戒が解け、普通の暮らしに戻らない限り、安全に楽しめるゴルフ場へのニーズは高止まりするのではないかと。
□	住宅販売会社（経営者）	・前年に比べて別荘の販売数が減少傾向にあり、減収が確実な状況にある。また、電気代やガソリン等の価格高騰により収益が圧迫されている。
▲	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響は、先行き不透明なため、余り良くならないのではないかと。
▲	スーパー（経営者）	・値上げや光熱費の上昇で、家計が持ちこたえられるかどうか心配である。
▲	コンビニ（経営者）	・いろいろな商材で値上がりがあり、どの客も割と価格の安そうな商材を探す傾向にある。味も追及するがやはり価格に対して非常に敏感になってきており、つくづく厳しいと感じている。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・今月に入り、新型コロナウイルスの新規感染が急拡大しており、それに伴う納車遅れや物価上昇による再値上げが懸念材料となり、来客数の減少が予想される。
▲	その他専門店〔酒〕（店長）	・2～3か月後、特に10月の値上げが取引先メーカーから告知されている。高価格帯の商材から始まって、中価格帯が値上がりし、いよいよ今度は一番低価格帯のボリュームゾーンが値上がりする。皆の給料が上がれば良いが、可処分所得が増えない状況だと、非常に厳しい状況が今年中は続くのではないかと。
▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響は拭えない。以前からみれば、まだ多少は動きがあるものの、物価の高騰とあいまって、飲食業はかなり厳しい状況である。

	▲	ゴルフ場（経営者）	・猛暑が続いており、予約が低調である。平日はシニア層の比率が高いゴルフ場のため、予約状況は厳しい。県内でも新型コロナウイルスの感染率が高くなり、プレー中のマスク着用が多くなっている。
	▲	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・現在、全く先が見えないので、困っている。
	▲	設計事務所（経営者）	・建設資材の値上がりで、今後も工事案件の取りやめや延期が増える見込みである。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の問題よりも、早く物価高が解決しなければ、売上の増える見込みはない。
	×	スナック（経営者）	・毎回同じような話になるが、大国と言われる日本だが、今の世界情勢では資源がない国なので、どうしようもない。今年いっぱいはずまず駄目ではないかと考えている。何か良い方法があったら教えてほしい。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・分からないという言葉が一番しっくりくる状況である。新型コロナウイルスの新規感染者数や関連報道で、どのような企画や補助制度があろうか、利用者数は減少する。また、逆の状況であれば、利用者数は増加する。こうした状況で、原材料費、燃料費の高騰は大きなマイナス要因であり、生産数を価格高騰分増加できず、販売単価アップも追い付かないほどの上昇なので、結局はコストを吸収できずに悪化が見込まれる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・7月の結果は全体的に良かったが、27日に当市から、祭りの一部イベント中止と花火の延期発表があった。それと同時に、一般宴会と宿泊にキャンセルが出ている。この先は見通しが付かない状態になっている。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・これだけ急に新型コロナウイルスの新規感染者数が増えると、客足にも当然影響が出てくる。戻りつつあった団体予約もキャンセルになってしまっている。いつになったら平時に戻るのかと思うが、もう戻らないのではないかと思うときもある。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要が多く、好調である。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・部品の供給不足が続いており、生産量に影響が出ている。
	□	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響が、どのくらい景気に影響するのか不透明である。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・当地でも新型コロナウイルスの感染警戒レベルが上がっており、外に出ることへの警戒感もみられる。展開している夏休み向けのワークショップも、予想が立たず先行き不安である。受注策の1つとして、オンラインでの企業マッチングを始めており、期待感を持っている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・円安による調達コスト増加分の販売価格への転嫁が遅れている。また、価格転嫁後の販売量減少も懸念される。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品や資材関係の流通にムラがあり、良くなったり悪くなったりを繰り返しているため、先行きは分からない。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症への対策に効果が出るまでは、もう少し時間が掛かる。
	□	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響による行動制限次第と思っているが、これまでの感染の波の状況や現時点での政府の方針を勘案すると、状況は変わらず横ばいではないか。
	□	新聞販売店 [広告]（総務担当）	・世界情勢に変化の気配がなく、現在の傾向はしばらく続くと考えられる。社内でも知恵を絞って、売上確保や経費削減に努めていくつもりである。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・コロナ禍で、現状は新規感染者数が増えてきているため、イベント等は中止となっており、先行きがやや心配な状況である。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	・在庫が減っていることから、商材を作りたいと思っても、金、ダイヤモンドの高騰だけでなく、海外へ買い付けに行けない影響で、材料物の貴石も良い物がなくなっている。この先も、商材作りがスムーズにいかない余波で、需要が回復してきても、売れる物がいない状況に陥るとみている。

	▲	金融業（調査担当）	・製造業は、原材料価格上昇の影響のほか、受注面では業種間格差が広がってきており、部品不足や調達難の影響が継続する見込みである。新型コロナウイルスの感染再拡大で、持ち直してきた観光関連に影響が出る可能性は高い。
	×	食料品製造業（製造担当）	・原料価格高騰分をどの程度値上げで反映できるかがはっきりしない状態にある。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連  (甲信越)	◎	*	*
	○	—	—
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症に対する個人の意識が変わらなければ、何も進展はしない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業において、目先の採用活動は旺盛だが、正社員の採用は慎重で、派遣や有期契約社員へのシフト採用が一段と進んでいる。国内で製造して海外に販売する一部の企業は円安効果で業績拡大中だが、原材料価格の高騰がマイナス要因になっている。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波が急速で、この先はちょっと見通しが立てられない。
	▲	職業安定所（職員）	・ウクライナ情勢や原材料不足、円安の影響に加えて、新型コロナウイルス感染拡大第7波による感染状況の悪化で、景気への影響が懸念される。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大や物価高騰による雇用への影響が懸念される。
	×	—	—